



あかまつ



学校便り No. 10

令和4年1月発行

美星小学校 校長室

時期が遅くなりましたが、保護者、地域の皆様におかれましては、ご家族で新しい年を迎えられたことと思います。今年一年が良い年になりますようにお祈りいたします。

新年を迎えるとともに3学期がスタートし、美星小学校にも子どもたちの元気な声と笑顔がもどってきました。

一人一人の子どもたちに温かさと厳しさをもって接し、引き続き、教育活動を進めてまいりたいと思います。今年もご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

さて、今年は寅年です。干支で言うと「壬寅（みずのえとら）」になり、「新しく立ち上がること」や「生まれたものが成長すること」という意味があるそうです。コロナ禍が続いていますが、あきらめることなく、新たな成長を目指す一年にしたいと思います。



3学期始業式 1月11日（火）

例年は、全校児童が体育館に集まって始業式を行っていますが、コロナ感染症対策として、昨年度と同様にオンラインで行いました。まず、2年生と5年生の代表児童が3学期のめあてを発表しました。2年生の代表児童は、「いろいろな種類の本を読む。新しいなわとびの技に挑戦する。」と発表しました。5年生の代表児童は、「最高学年に向けて、算数や読書、委員会活動がんばりたい。」と発表しました。

始業式の後、それぞれの教室で、冬休みの楽しかった出来事を発表したり、宿題を提出したり、3学期のめあてや目標を考えたりしました。

引き続き、コロナ感染症対策に配慮をしながら、3学期を乗り越えたいと思います。

「当たり前を積み重ねると特別になる」

始業式で、「当たり前を積み重ねると特別になる」という言葉についての話をしました。日本を代表するケーキ職人の言葉です。

そのケーキ職人が、フランスの有名店で見つけたおいしいケーキ作りの秘密は、「焼き時間を守る」、「材料の量を守る」、「材料の大きさをそろえる」、「傷んだ材料は使わない」など、当たり前のことを徹底してやり続けることでした。ケーキ職人は、「当たり前を積み重ねると特別になる」と思いました。それから、当たり前の作業を徹底してやり続け、日本を代表するケーキ職人になりました。

という内容です。

「元気にあいさつをする」、「くつをそろえる」、「家庭学習をする」、「〇〇（習い事など）の練習をする」など、当たり前のこと（一回するのはそれほど難しくないこと）を積み重ねて、児童一人一人が成長してほしいと思います。その当たり前を積み重ねることができるよう、私たち大人が、子どもたちが取り組んでいることを当たり前ととらえず、しっかり見守り、認め続けていくことが大切だと考えます。

寒い日が続いています。

3学期になり、寒い日が続いています。1月14日（金）は、降雪による交通トラブルのため、スクールバスが遅延し、ご心配をおかけしました。

年度初めに配布しました文書「非常時（警報・大雪等）の登下校について」に「警報は出ていないが、大雪等で『臨時休業』の場合は、メール配信する。」と記載しています。ご確認ください。

また、寒い時期の服装は、年度初めに配布しました「美星小よい子の暮らし」に、

- ・登下校時には協定服の上に派手でない色のジャンパーを着てもかまわない。
- ・黒または紺の長ズボンをはいてもよい。
- ・手袋・マフラー等はつけてもかまわない。

と記載しています。体調や気温等に合わせた服装にご配慮ください。

児童は、寒さに負けず元気に生活・学習をがんばっています。引き続き、児童の体調管理をよろしくお願ひします。



雪の中で元気に遊ぶ2年生



民生児童委員の方に元気にあいさつ

美星小学校をよりよい学校にするために

- ・友達にやさしくする。
- ・けんかはすぐに止める。
- ・みんなで遊んで友達との仲が深まるようにする。
- ・新しい1年生が入学してくるので、やさしくする。
- ・人に会ったら気持ちのよいあいさつをする。
- ・そうじをだまってすみずみまでして、美星小学校をきれいにする。
- ・クリーン作戦の回数を増やして、学校をきれいにしたらよい。
- ・毎日、スリッパや靴をきれいにそろえる。
- ・あいさつ、ろうか歩行、くつそろえの3つに意識して取り組む。
- ・「やりぬく力」でがんばっていけば、いろいろなことができる。

*児童が考えました！（一部抜粋）

- ・仲間外れをしない。
- ・全校遊びをする日を増やす。